

第1回 俳句の世界

みなさん、俳句を創っていますか？

とつぜん俳句の課題が出されて、こまったなと思っている人。みんなでいっしょに考えましょう。

俳句は、5・7・5の17文字で伝えたいことを、表現します。もう1つきまりがあって、季節をあらわす言葉（季語）を1つだけ入れます。

たとえば、どんな言葉が季節をあらわす言葉なのかというと、投句用紙と一緒に配った季語集（春）と（夏）です。

他にもたくさんあるので、調べられる人は、「歳時記」で調べてみましょう。

それから、「うれしいな」「たのしいな」「かなしいな」「きれいだな」という言葉はあまり使いません。「うれしいな」「たのしいな」ではなくて、「ワクワクだ」のようにちがう言葉で表現します。どのようにうれしかったのか、ということ伝えるようにします。

1 ことばさがし

(れい) 「きれいだな」をちがう言葉で表現してみましょう。

「^{ほうせきばこ}宝石箱だ」、「きらきら」、「こころにひびく」など。

① 「かなしいな」をちがう言葉で表現してみましょう。

② 「おどろいた」をちがう言葉で表現してみましょう。

③ 「うれしいな」をちがう言葉で表現してみましょう。

たくさん探^{さが}すことができましたか？

詩の音読や本を読んだときに、良い言葉だなと思ったら、書き留めておいて、俳句で使ってみると楽しいですね。